

本年度の研究に見える児童の変容（今年度の校内研究）

研究主任 坂本 敦

本校では、平成26年度より「教えて考えさせる授業」（以下OKJ）を実践する校内研究を継続してきました。OKJは、児童が考える根拠となる必要な知識を授業冒頭でしっかり教え、それをもとにして学習活動を展開させる授業スタイルです。授業の中で理解した知識を活用するために、「理解確認」（本校では「確かめよう」）「理解深化」（本校では「深めよう」）の2つの段階で、児童が2人組で理解したことを説明したり、3～4人組の小グループで難易度の高い問題の解決に取り組んだり、協働学習と名付けた言語活動、つまり「アクティブ・ラーニング」に取り組むことを特徴としています。

今年度は、昨年から引き続き「自らの学びを振り返り、次の学びに向かう力を付ける学習評価～国語科における『教えて考えさせる授業』～」という主題を掲げ、授業の終末などで行う児童自身の自己評価や振り返りの仕方を工夫し、児童自身が学習を振り返る意識や習慣を育てていけば、学習意欲や学習理解を高めていくことにつながるだろうという仮説を立てて研究を行っています。

研究を積み重ねることで分かってきたことは、やはり学習のねらいや目標に向けた自己評価や振り返りの仕方を教師が工夫すれば、児童も変容してくるということです。それまで、振り返りの中で「今日の授業は、理解できた」や「難しかった」などとしか振り返れなかった児童の中には、「説明文の双括型は、読者にとって分かりやすい形だから、自分の作文でも使えそう」とか「筆者は説得力をもたせるために、わざとこういう表現をしていると思う」など、学習を他の場面でも生かそうとしたり、自分なりに価値づけたりするなどの振り返りをするようになってきた児童も見られます。こうした変容がより生まれるような授業を展開し、より質の高い理解の定着を目指しています。

11月22日（金）の午後には、区の研究学校として区内外の学校に向けて取組の一端を報告する発表会を行います。保護者の皆様の授業参観も可能です。もしご都合がつかうようでしたら、ぜひ足をお運びください。

社会と自分との関わりを考える ～スチューデント・シティの体験を通して～

5年団 佐藤 周平

先月5月18日（土）、品川学園内のスチューデント・シティにおいて、1日体験学習を行いました。スチューデント・シティの学習は、職業体験や消費活動の両方の経験を通して、社会や経済の仕組みや働きを理解していくことを目的としています。社会科の学習に留まらず、将来につながるキャリア教育にも位置付けられています。スチューデント・シティ内に設置された品川区役所と、9つの企業の店舗において、区役所や企業のボランティアや保護者ボランティアの協力を得ながら、本格的に、はじめての「仕事」を体験することができます。

校内での事前学習を重ねて、それぞれに企業に関わり、助け合う社会の仕組みや、お金の流れや消費の意味など、自分と社会との関係を学んだ上で、当日を迎えました。子どもたちは、初めての経験に胸を膨らませながら、仕事に取り組みました。自分にできる役割を考えたり、利益を上げるための工夫について社内会議を重ねて話し合ったり、責任感をもって打ち込んでいく姿が広がっていきました。消費をする場面では、仕事を行ったことで振り込まれる給料の喜びを感じ、限られた額の中でどんなものを買おうか大事に考える姿が印象的でした。

今回のスチューデント・シティの貴重な経験を通し、仕事をするの大変さを実感し、働くことの意味を考え、深めていく機会になったと思います。そして、子供達自身が、将来の自分の姿を考え、進んでいく一歩になることを願っています。



日光移動教室

6年団 宮林 清志

6月17日（月）から19日（水）まで6年生は日光移動教室に行ってきました。宿泊の行事は5年生に続き2回目でした。今回の日光移動教室の3日間を振り返ってみても、多くの子にとって思い出深いものになったと思います。

日光移動教室に向けて6年生は5月の中旬から準備を始め、1か月以上学年みんなで日光移動教室の成功のために取り組んできました。自主性や責任感を育てるために、5年生の日光林間学園以上に係ごとに子供たちで様々なことを考えさせ、自分たちの力で準備・実施させるようにしました。

行程としては、1日目は「さきたま古墳群オリエンテーション」「日光東照宮見学」「キャンプファイヤー」を行いました。2日目は、「華厳の滝見学」「切込湖刈込湖ハイキング」「ナイトレク」を行いました。3日目は「日光木彫り体験」「お土産購入」をしました。

3日間の様子は、子供たちが考えたスローガンである「協力し、友達の長所を見付け、歴史や文化を学び、楽しもう」ということを意識した姿が、多くの場面で見られました。スケジュールを見通した声掛けをお互いに行っている姿や、部屋の中で協力しながら準備や片付けをして、楽しそうに過ごす姿など、子供たちの思い出になったことが伺えました。

2泊3日を一緒に過ごす中で、子供たちはお互いの知らなかった一面を知り、仲間の優しさや良さに改めて気付くことができました。この日光で得たものを今後の第二延山小学校での生活にぜひ生かしてほしいと思います。